



【笠間小学校からスルレレ小学校へのメッセージの様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 7 月 7 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

仁川広域市の職員が横浜市を訪問しました

6月19日から20日にかけて、パートナー都市である仁川広域市の職員13名が横浜市を訪問しました。



中央卸売市場本場では、水産棟のリノベーションに関する説明と現場の見学を行うとともに、市の就職サポートセンターなどを訪問し、本市の取組に高い関心を示されました。



視察の際には、ソウル特別市から本市に派遣されているイム・ハンスクさんに同行いただき、案内役も務めていただきました。

ベナンの小学校から笠間小学校に贈り物が届けられました

6月20日にベナン共和国コトヌー市のスルレレ小学校から、栄区の市立笠間小学校に贈り物が届けられました。



5月にスルレレ小学校へ笠間小学校の児童からメッセージを送ったことに対する、スルレレ小学校からのお返しのお手紙と絵で、受け取った児童はとても喜んだ様子でした。



贈り物を笠間小学校に届けた在ベナン日本大使館の内田書記官に、児童の皆さんはベナン共和国の歌を披露しました。また、内田書記官は大使館の仕事について児童にわかりやすくお話し、質問コーナーではたくさんの質問が寄せられました。

tvkの番組で「外国人が住みやすい横浜」が紹介されました

横浜市には150を超える国・地域から、約89,000人の外国の方が住んでいます。

外国人にとって暮らしやすい横浜の街づくりについて紹介する番組がテレビ神奈川 (tvk) の「ニュース930α」にて7月4日21:30より放送されました。



国際局が取り組む多文化共生の施策の紹介をはじめ、横浜市国際交流協会 (YOKE) が提供する日本語教室の様子やその教室に通う外国人生徒のインタビューも放送されました。また、日本語が不自由な在住外国人のために鶴見区が導入している、リアルタイム動画で通訳者と話しができるタブレット端末等、外国人向けの行政サービスなどについて紹介されました。